

# 薬連ハイライト

## 平成30年度 定時評議員会開催される

平成31年3月27日、東京・都市センターホテルにおいて、平成30年度定時評議員会が開催された。山本会長の挨拶で始まり、続いて薬剤師国会議員である松本純衆議院議員、藤井基之参議院議員、とかしきなおみ衆議院議員、逢坂誠二衆議院議員より国政報告を兼ねた挨拶をいただいた。

金安議長、明石副議長が登壇し、石井副会長から重要事項の経過報告、尾島副会長からハラスメント防止指針の件が説明された。

その後、報告第1号平成30年度会務並びに事業中間報告、平成31年度事業計画、平成31年度責任負担金賦課額、平成31年度責任負担金単価及び減免措置、平成31年度収入収支予算、平成31年度借入金最高限度額について議案上程され、質疑応答・採決が行われ、すべての報告・議案が賛成多数で承認された。

続いて協議に移り、最後に安東副会長の閉会挨拶で終了した。

その後、本田あきこ中央後援会主催の「本田あきこ激励会」が行われた。松本純衆議院議員の挨拶の後、手代木功製薬産業政治連盟会長、鹿目広行日本薬業政治連盟会長、大塚陸毅健康保険政治連盟会長からのメッセージが萩野副会長から紹介された。続いて、本田あきこ中央後援会副会長である日本病院薬剤師連盟本平健治会長、同じく日本女性薬剤師連盟近藤由利子会長から激励の言葉が述べられた。藤井基之参議院議員は参議院本会議から駆けつけて挨拶をいただき、政府予算が成立したことを伝えていた。



いただいた。本田あきこ氏からは力強い決意表明があり、全員が一丸となり支援することを誓い合い、岩本副会長の閉会の辞で散会となった。

## もとゆき便り

### 平成から令和へ

自由民主党組織運動本部本部長代理  
参議院議員・薬剤師  
藤井もとゆき

今上天皇は4月30日に退位され、5月1日に皇太子殿下が新たな天皇に即位されます。平成が終わり令和の時代の幕開けです。平成は戦争の無い平和な時代でしたが、阪神淡路・東日本大震災をはじめ、多くの自然災害に見舞われました。また、少子高齢化の進展により社会保障費が増大し、その財源の確保と財政規律の立て直しが最大の政策課題となりました。この10月の消費税率引上げにより、2025年を念頭に進めてきた社会保障と税の一体改革は完了することとなります。これからは、団塊ジュニア世代が高齢者となり、現役世代が一段と減少する2040年を見据え、多様な働き方を可能とする一億総活躍社会の実現とAI・ロボット等の先端技術を活用した生産性の向上等を進めていかなければなりません。人生100年時代に相応しい社会システムを築き、令和の時代を生きる若者達に夢と希望を与え続けられる世の中にして行くことが、政治の果たさすべき大きな課題となります。

さて、国会は3月27日の参議院本会議において、新年度予算を可決成立しました。令和の初年度予算は、当初予算では初めて100兆円を超え、社会保障

費も過去最大の約34兆円となり、平成から令和の時代に向けた課題を色濃く示すものとなりました。

国会では予算に引き続き、提出法案の審議が進められています。先号でも記しましたが、薬剤師・薬局のあり方を見直す、薬機法等の改正法案の審議も予定されています。

昭和の後半に本格的に始まった医薬分業は、平成に入り順調な伸びを示し、病院で処方箋を受け取り、院外の薬局で調剤してもらうのが日常となりました。他方、医薬分業の進展に伴い、その費用に見合うメリットが享受されていないとの指摘もなされる所となりました。「患者のための薬局ビジョン」に示された、地域住民や患者に真に寄り添う薬剤師・薬局の実現に向け、そのための制度作りが進められようとしています。

令和元年が、薬剤師・薬局にとって更なる飛躍への幕開けになるものと確信しています。



藤井議員に関するご意見・ご要望等がございましたら、全国藤井もとゆき薬剤師後援会（下記アドレス）までご連絡くださいますようお願いいたします。

zenkoku@mfujii.jp